

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第3学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きや言語についての知識・理解を定着させること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 目的を考えて、中心となる語や文を見付けさせること。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 新出漢字を全体の一斉指導で確認し、家庭学習や小テストを活用して定着状況を把握する。また、ノート指導や作文などを通して、日常的に漢字を使用する機会を増やす。 言語についての知識・理解を定着させるために、国語辞典を繰り返し使用させ、語彙を増やす活動を行う。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 教材文を中心に、目的を意識して読む機会を増やす。 	
社会	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な情報を読み取り、地域の特色を捉えさせること。 <p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 主な地図記号や八方位についての知識を身に付けられるようにすること。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館を活用し、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりしてまとめることを繰り返し指導する。 <p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 地図帳を使って、自分たちの市の位置を調べたり、白地図にまともたたりする際に必要となる方位や主な地図記号について理解できるようにする。 	
算数	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 数の表し方、整数の計算の意味と性質を理解し、計算させること。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物や図などを用いて数の表し方や計算の方を説明させること。 	<ul style="list-style-type: none"> 位取り表、テープ図、数直線などを用いて、視覚的に数の概念をつかめるようにする。 2位数の基本的な計算技能を習得させ、3位数4位数の加減法に適用できるようにする。 自力解決した結果を交流する場面を増やし、表現する手だてをより多くもって活用できるようにする。 	
理科	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 理科の学習の仕方を身に付けられるようにすること。 差異点や共通点から問題を見出させること。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な活動を多く取り入れるとともに、問題解決の過程の中で「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追及していくことを繰り返し、理科の学習の基礎を身に付けることができるように指導する。 比較して考えやすいように、共通点や差異点を分かりやすく板書する。 	
総合	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を見付けたり、情報の収集・整理・分析をしたりして、自分の考えをまとめ、表現させること。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館を活用し、本、インターネット、インタビュー等の情報収集の仕方に触れる機会を増やす。 クイズ、スピーチ、報告文などの表現方法を使ってまとめる経験を積み重ねる。 	
音楽	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> タンギング、運指など、リコーダー演奏の基礎的な技能を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーはタンギング、プレスコントロールが出来るように段階的に指導する。 家庭学習で練習させ、技能を高める時間を確保する。 	
図画工作	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の表現したいイメージをもち、色や形にこだわりをもって学習に取り組ませること。 <p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 集中して一つ一つの活動に丁寧に取り組ませること。 <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の表現を大切に作り出すことに喜びを感じさせること。 失敗を恐れず、試行錯誤しながら作品をよりよく改善させること。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に取り組む前にアイデアシートを使って、落ち着いて表現したいことを考えられる時間を設ける。 机間指導で作品を褒めることで子供たちに自信をもたせる。 はさみの使い方、色の塗り方など、丁寧にできているか友達と確認し合う機会を設ける。 作品を遠くから眺める習慣をつけて、作品の改善点に自分で気付けるようにする。 	
体育	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見つけ、その課題を解決するための活動を工夫するとともに考えたことを友だちに伝えるさせること。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた技能を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見付け、技能を高めるための場を多く用意し、自分に合った場を選ぶように指導を行う。 考えたことを友達に伝えられる児童を増やすために、友達の様子を真似したり、友達にアドバイスをしたりする機会を設ける。 基本的な動きや技能を身に付けるために、各種の運動の楽しさや喜びに触れる機会を増やす。例えば、授業の初めにサーキットトレーニングを取り入れる。 	
外国語活動	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を用いて、主体的にコミュニケーションをとることの大切さを理解させること。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が学習の中で慣れ親しんできた英語を使い、ALTや学級担任、友達など様々な相手とコミュニケーションを図ることの楽しさを実際に体験させる。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 児童が問題意識をもち、主体的に考え、話し合えるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材を提示する際に、教師による読み聞かせだけでなく、紙芝居の形で提示したり、劇のように提示したり、音楽や映像の効果を生かしたりする工夫を行う。 思考の流れや順序を示すような順接的な板書だけでなく、対比的、構造的に示したり、中心部分を浮き立たせたりするなどの板書の工夫を行う。 	